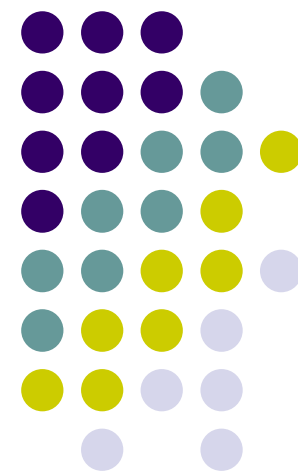


「AP地域LIR共同利用IPv4 アドレス空間の新設」提案報告

2008.07.23

共有アドレス提案WG

報告=芦田宏之(iTSCOM)



提案概要(JPOPM13,2007/11)



発表者 = 新延さん

- LIRが共同で利用できるIPv4アドレス空間を新設する
- アドレス空間: /8 x 2つ
- 利用可能な組織: AP地域のLIR
- 管理: LIR内で一意性を確保する。LIR間では一意性は確保しない
- 利用手続き: エンドユーザはLIRから割り当てを受けて利用



JPOPM13の結果

- 2007/11/20 JPOPM13会場コンセンサス
 - 提案のIPv4アドレス空間に対してコンセンサス
 - APNIC25へ提案する

- 2007/11/29 IP-USERS 1374にてアナウンス
 - コメント×切=12/14、コメントなし

⇒ コンセンサス確定(12/19,IP-USERS 1378)

APNIC25提案概要(2008/02,台北)



- LIRが共同で利用できるIPv4アドレス空間を新設する
- アドレス空間 = /8 x 1つ
- AP地域のLIR向け
- グローバルインターネットに広告しない
- RIRへのDB登録を必要としない
- エンドユーザはLIRから割り当てを受けて利用

発表者: 芦田



APNIC25結果

- APNICミーティングでは否決
 - APNICよりIETFが適切なフォーラムである
- 会場での意見
 - 賛成意見
 - IPv4枯渇後のNATサービス以外にもVPNサービス等にも適用できる(主にAP地域オペレータ)
 - 反対意見
 - RFC1918で不十分な理由を納得できない
 - 他の変換技術(IPv4-IPv6-IPv4など)を使えばよい
 - アドレスの効率的な利用を目指す意図は評価するが、必要性が証明できれば割り振りを申請すればよい(RIR,IANA)

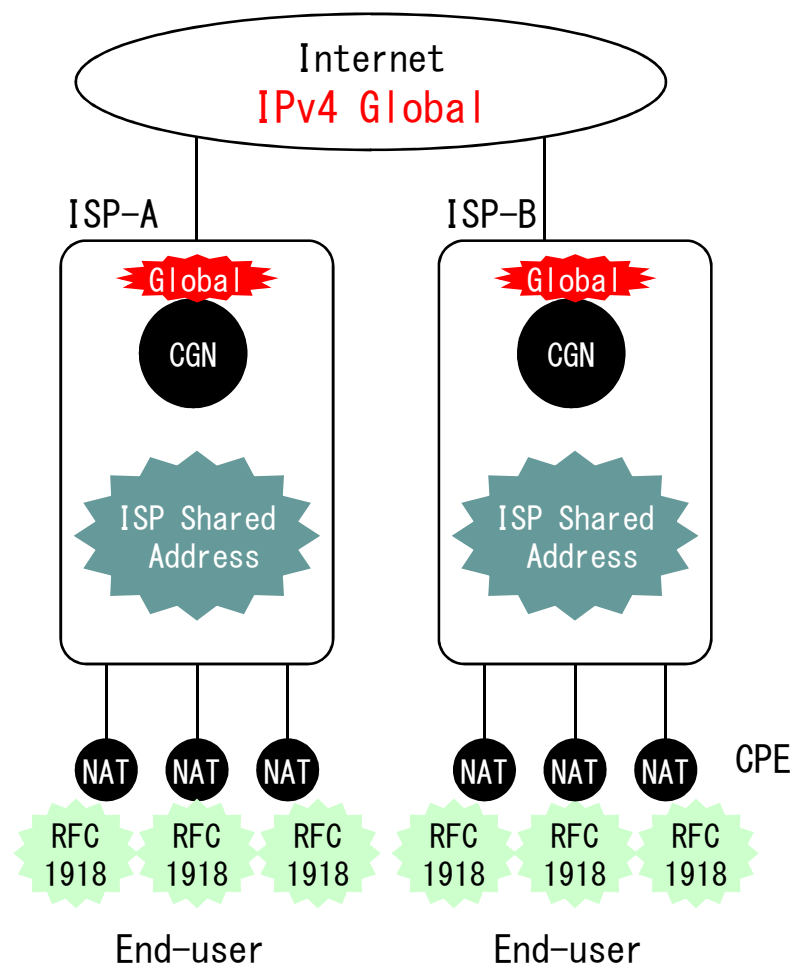
APNIC25終了後、WGメンバにてIETFへの提案を決意

IETF提案: 概要



以下のISP用共有アドレスを定義する

- エンドユーザとキャリアグレード NATの間で使う
- グローバルインターネットに広告しない
- サイズ = TBD





IETF提案: I-D提出

- WGメンバにNTT.com宮川さんと白崎さんを迎え議論・執筆
- Internet-draft 提出 (2008/06/09)
<http://www.ietf.org/internet-drafts/draft-shirasaki-isp-shared-addr-00.txt>
“ISP Shared Address after IPv4 Address Exhaustion”
draft authors
 - NTT.com 白崎さん
 - NTT.com 宮川さん
 - KDDI 中川さん
 - IJ 山口さん
 - iTSCOM 芦田
- 72nd IETF(ダブリン、アイルランド)で議論